

HP掲載文書

局所麻酔下にて腫瘍切除術を受けられた方へ  
—「局所麻酔下における腫瘍摘出後のドレーンの有無に関する実態調査」へ  
のご協力のお願い—

研究機関名：愛媛大学医学部附属病院

研究責任者：愛媛大学医学部附属病院形成外科	准教授	中岡啓喜
研究分担者：愛媛大学医学部附属病院形成外科	助教	森 秀樹
愛媛大学医学部附属病院形成外科	助教	戸澤麻美
愛媛大学医学部附属病院形成外科	助教	三宅啓介
愛媛大学医学部附属病院形成外科	医員	村上達郎
愛媛大学医学部附属病院形成外科	医員	松満紗代子
愛媛大学医学部附属病院形成外科	医員	木村千寿
愛媛大学医学部附属病院形成外科	医員	泉本真美子

代表研究機関名：川崎医科大学

研究機関長：園尾博司

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

この研究は複数の施設において行われるもので、「局所麻酔下における腫瘍摘出後のドレーン留置の必要性について」といいます。形成外科において局所麻酔にて行われる小手術はどこの施設においても多数行われています。手術において術後出血が起きないようにすることは非常に重要です。しかし完全に出血を止めることは不可能であり、術後に血液が貯まらないように血抜きを管を入れることがあります。この管のことをドレーンといいます。ドレーンは出血がなくなれば数日で取り除きますが、ドレーンを入れる基準・入れておく期間に関しては明確な基準はありません。

今回、複数の施設においてこれらドレーンの必要性を調べることで、適切なドレーンの使用基準を検討し、患者さんの通院の負担を軽減することが、本研究の目的です。

### 2) 予想される医学上の貢献および研究の意義

ドレーンを長期にわたって留置することは感染の原因ともなり得るため、不必要なドレーン留置は避けることが望ましいです。今回の研究では合併症の有無を多施設間において検討を行うものであり、それら手術において生じた合併症を把握することは、今後の局所麻酔下での手術を行う上で、極めて有用なデータとなります。

## **2. 研究の方法**

### **1) 研究の対象者**

倫理委員会承認日～2021年12月31日の間において愛媛大学附属病院形成外科で局所麻酔下にて腫瘍切除術を受けられた20歳以上の方を研究対象とします。

### **2) 研究期間**

倫理委員会承認後～2022年9月30日まで

### **3) 研究方法**

上記期間において愛媛大学附属病院形成外科で局所麻酔下にて腫瘍切除術を受けられた方を対象に行います。まず担当医師が対象となる患者さんに対し、術前に問診を行います。問診の内容としては、性別・年齢・身長・体重・糖尿病・高血圧の有無・抗血栓薬、ステロイド剤、抗癌剤の投与の有無に関して行います。

手術の日程が決まり、実際の手術となります。担当医師は術後にドレーン留置の有無・腫瘍の最終診断名・腫瘍の手術月・大きさ・部位・深さ・手術時間・留置したドレーンの種類、サイズ・縫合に使用した糸の種類を記載します。術後経過は外来・病棟で行いますが、ドレーンを留置した場合はドレーン抜去の期間を記載します。術後2週間以内に再度診察を行います。この際、血液がたまっていないか、感染を生じていないか、創部に異常はないかをチェックします。問題がなければそのまま通院を継続します。感染等の異常があった場合、通常の保険診療を行います。

これら情報はカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、個人情報は匿名化して個人情報などが流出しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究結果は参加される複数の施設の結果と総合し、中国・四国形成外科学会学術集会において発表されます。その後、論文化して国内外の雑誌に投稿することで、社会・国民にその成果を発信します。

### **4) 研究に用いる情報の種類**

性別・年齢・身長・体重・既往歴・手術の際のドレーン留置の有無・腫瘍最終診断名・腫瘍の手術年月・大きさ・部位・深さ・皮膚剥離の有無・手術時間・縫合に使用した糸の種類・留置したドレーンの種類、サイズ・ドレーンの抜去日・術後2週間以内に生じた合併症の有無、その時期について

### **5) 外部への情報の提供**

この研究に使用する情報は以下の共同研究機関と共有させていただきます。提供の際、氏名・生年月日などのあなたが直ちに特定できる情報は提供されません。

1. 川崎医科大学附属病院 形成外科・美容外科
2. 岡山医療センター 形成外科
3. 三豊総合病院 形成外科
4. 津山中央病院 形成外科
5. 岡山済生会病院 形成外科
6. 岡山ろうさい病院 形成外科
7. 愛媛大学医学部附属病院 形成外科

## 6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、2 か月毎に愛媛大学から川崎医科大学に紙媒体の登録用紙のコピーを郵送します。愛媛大学では情報管理責任者が形成外科医局内の施錠可能な保管庫に保存し、学会発表終了後に適切に廃棄します。川崎医科大学に郵送した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学形成外科学教室医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワードで制御されたコンピューターに保存し、紙媒体等は施錠可能な保管庫に保存いたします。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

## 8) 利益相反

本研究を実施する関係者には、研究結果に影響を及ぼすような資金の受け入れはありません。また本研究は研究責任者の教員研究費を使用します。

### 「お問い合わせ先」

愛媛大学医学部附属病院形成外科

住所：愛媛県東温市志津川

電話：089-960-5350（平日9時～17時）

研究責任者：

愛媛大学医学部附属病院形成外科 准教授 中岡啓喜

情報管理責任者

愛媛大学医学部附属病院形成外科 助教 戸澤麻美

### 「研究組織」

研究代表機関名：川崎医科大学

研究代表責任者：川崎医科大学形成外科学教室 准教授 戎谷昭吾

共同研究機関名

岡山医療センター 形成外科 末延耕作

三豊総合病院 形成外科 太田茂男

津山中央病院 形成外科 奥本和生

岡山済生会病院 形成外科 安積昌吾

岡山ろうさい病院 形成外科 小松星児

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 中岡啓喜